



地域とともにある 学校づくり

～子どもたちの未来のために～

ゆめ☆まなびネット代表・コーディネーター

大阪府立富田林中学・高等学校 学校運営協議会 副会長

河内長野市立美加の台小・中学校 学校運営協議会

和歌山県教育委員会 CSマイスター

文部科学省 CSマイスター 大谷裕美子

☆コミュニティ・スクールの3つの機能

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5】

- 1、校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**する。
- 2、**学校運営について**、教育委員会または校長に**意見を述べる**ことができる。
- 3、**教職員の任用について****教育委員会規則に定める事項**について、**教育委員会に意見を述べる**ことができる

☆地域学校協働本部

【社会教育法第5条】

・多くのより幅広い層の地域住民・団体等が参画し、地域と学校が目標を共有しながら『緩やかなネットワーク』を形成することにより地域学校協働活動を推進する体制。

- 1、コーディネート機能
- 2、多様な活動
- 3、継続的な活動

新学習指導要領の全面実施

これからの教育課程の理念

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

<社会に開かれた教育課程>

- ① **社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。**
- ② **これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。**
- ③ **教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。**

新学習指導要領の全面実施

学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的
に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習
得など、新しい時代に求
められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質
の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

※高校教育については、従来な事後的知識の増記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

なぜ今、

コミュニティ・スクール

と

地域学校協働活動

が必要なのか？

背

景

時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化

教育環境を取り巻く状況

児童生徒数の減少
学校が抱える課題の複雑化・困難化

教育改革の動き

「社会に開かれた教育課程」
の実現など

社会の動向

少子高齢化の進行
グローバル化や情報化の進展
地域社会のつながりや支え合いの希薄化による
地域教育力の低下

地方創生の動き

学校を核とした地域の活性化

求められるものとは・・・

これからの時代を生き抜く力の育成（学校だけでは得られない知識・経験・能力）
地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「**持続可能な仕組み**」です。

② 当事者意識・役割分担 = 社会総がかり

校長が作成する学校運営の「**基本方針の承認**」を通して、学校や地域、子供たちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「**役割分担をもって連携・協働による取組**」ができます。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

学校運営協議会や熟議の場を通して、子供たちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという「**目標・ビジョン**」を共有できます。



「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

子供にとっての 魅力

- ・子供たちの学びや体験活動が充実します。・自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- ・防犯、防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。

教職員にとって の魅力

- ・地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- ・地域人材を活用した教育活動が充実します。
- ・地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

保護者にとって の魅力

- ・学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- ・地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- ・保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々に とっての魅力

- ・経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- ・学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- ・学校が社会的につながり、地域のよりどころとなります。・地域の防犯、防災体制の構築ができます。



「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進



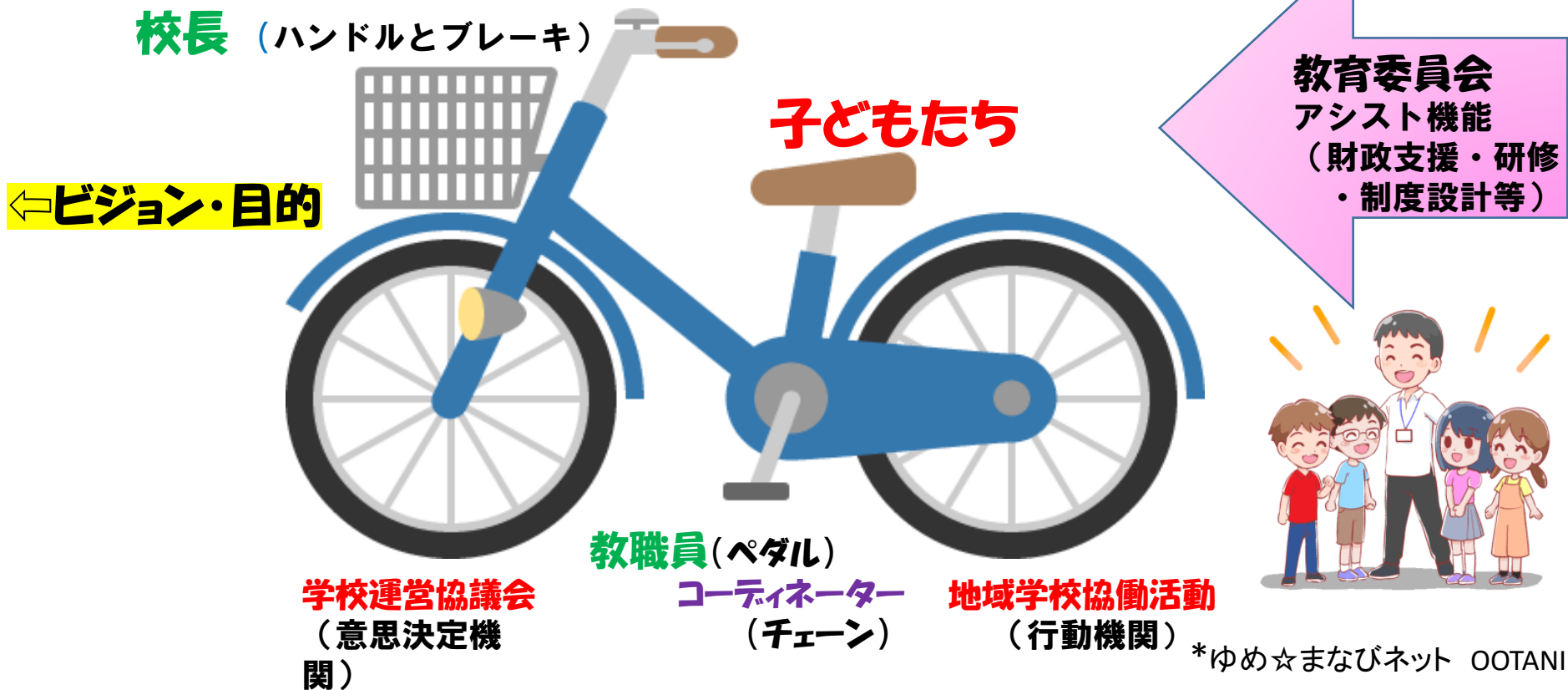
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とはどういうことですか？

コミュニティ・スクールの**仕組み**と、地域学校協働活動の**様々な活動**を連携させることです。それにより、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいきます。



コミュニティ・スクールは **GO⇒LET'S**

学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進で！



「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

コミュニティ・スクールの仕組み(イメージ)

どのような学校をめざすのか、
どのような児童生徒を育成し
ていきたいのか等、学校運営
について協議します

校長

保護者代
表

その運営に必要な支援に関する
協議をします

地域学校協働
活動推進員

地域住民

特色ある学校づくりに
ついて協議します

学校が抱える課題について支援
できることを協議します



学校運営協議会



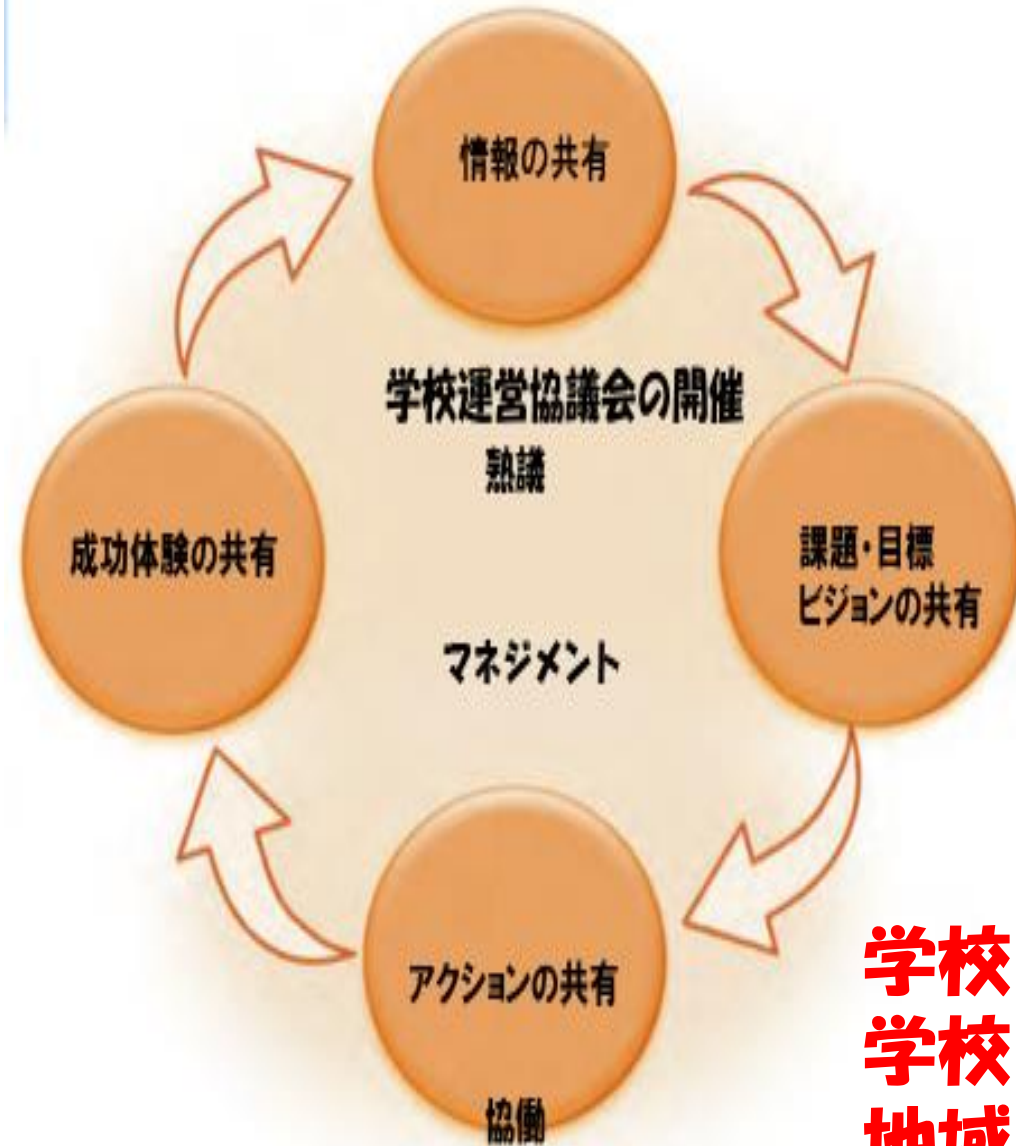
文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

学校運営協議会の ポイント！！

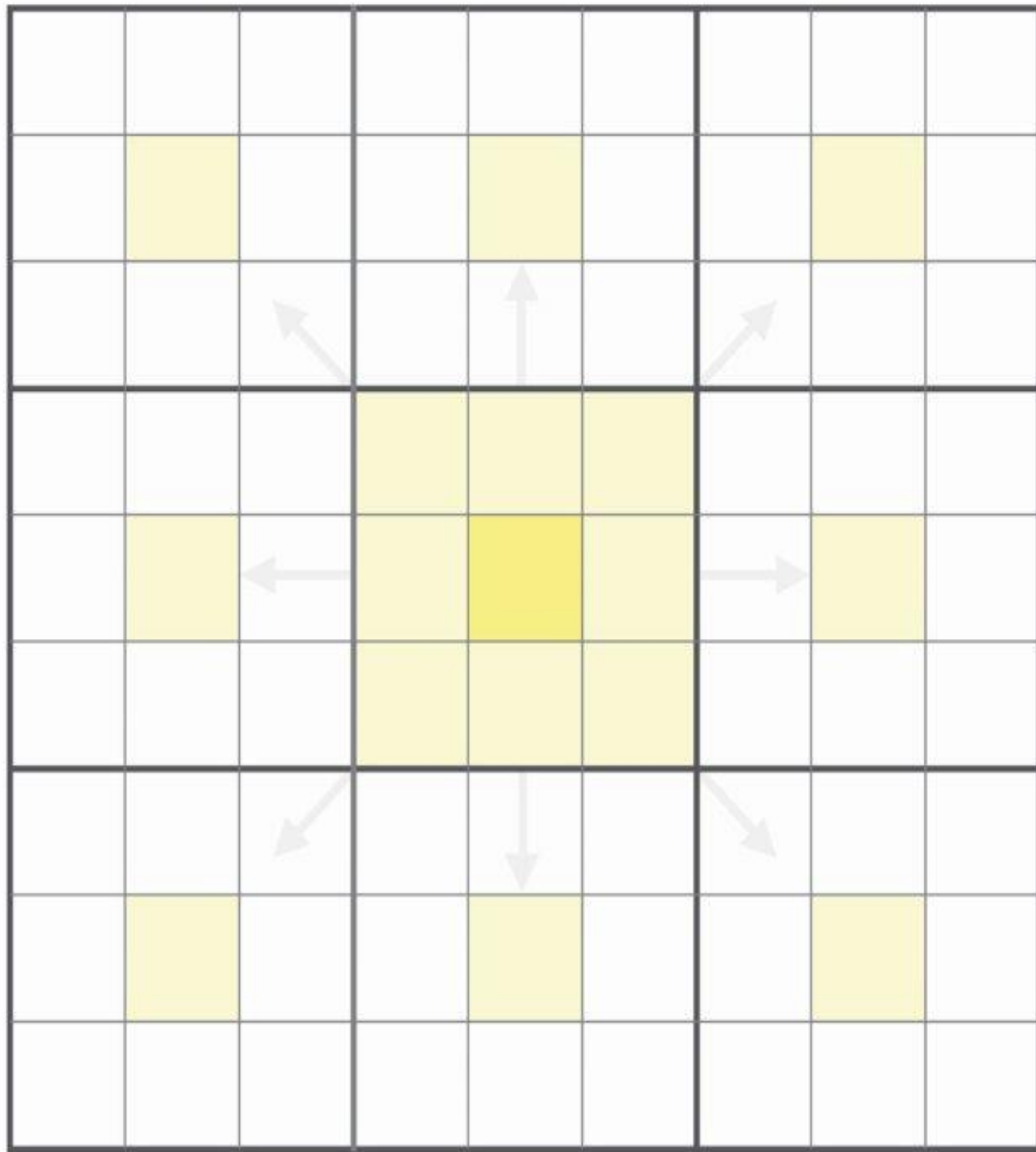


熟議



**学校がすること
学校と地域が一緒にすること
地域がすること**

目標達成
CSマンダラ
シート



コミュニティ・スクールの キーワード⇒『知る』

* 子どもを真ん中に
大人(学校・地域・保護者)が
チームになる



こんなCSは徐々につまらなくなっていく!?

- 教育委員会

- * CSを通じた様々な成果を期待しすぎる。
- * どんな成果が出るかは各校・地域まかせ。

- 学校

- * 教育委員会に言われて導入した意識が強い。
- * 教委や地域が期待することで対応しようとしている。

- 地域

- * 教育の質は学校が担保するもの考えている。
- * 学校に依頼されたことを支援すればいい。

支援から協働へ 協働とは Win-Winの関係

立場が異なる人たちが、同じ目的・ビジョンに向かって
対等の立場でともに活動すること

- | | | |
|---------------|---|------------------------|
| • お手伝いではなく | ➡ | 自身の活動の一部である |
| • 言われたからではなく | ➡ | 自主的・自発的である |
| • 他人事ではなく | ➡ | 当事者意識をもって |
| • 負担感ではなく | ➡ | 自己有用感が生まれ生きがい
につながる |
| • 学校のためだけではなく | ➡ | 地域のためにも |

《できる人が・できる事を・できる時に・楽しく！》

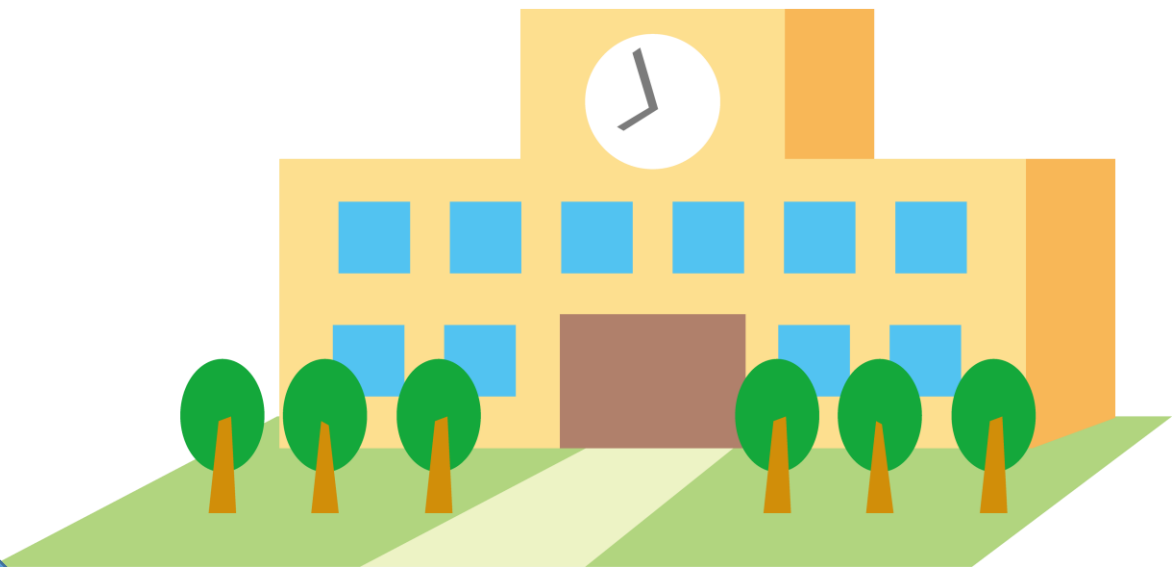
学校を核として地域づくりの
担い手を育み
地域づくりを推進する

情報

思い

行動

共有



地域の『強み』
を生かす

地域学校協働活動推進員はどんな人？

地域学校協働活動推進員の役割

何かと何かをつなげる役割



社会的信望があり、地域学校協働活動推進に熱意と識見を持つ

(例) ＊子供たちの状況を理解できる人

＊学校の現状を理解できる人

＊地域の実情を把握できる人

＊コミュニケーション力のある人

コーディネーター機能の強化

コーディネーターの役割

企画・立案	地域や学校の実情に合わせた地域学校協働活動の企画・立案
連絡・調整	学校や地域住民、民間企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
募集・確保	地域ボランティアの募集・確保
事務・経理	地域学校協働本部の事務処理・経理処理
情報提供	地域住民への情報提供・助言・活動促進

多様な活動の推進

多様な地域学校協働活動のイメージ(例)

学校教育活動(学校管理下の活動)

教育課程内

(学習指導要領に基づく領域)

- 各教科
- 総合的な学習の時間
 - ・地域課題解決学習
 - ・郷土学習
 - ・キャリア教育
 - ・伝統・文化理解教育
- 土曜授業
- 特別活動

教育課程外

(学校が計画する領域)

- 部活動
- 朝の時間
- 休憩時間
- 登下校時
- 夏休み

学校教育活動外の諸活動

- 子供子育て支援事業
- 地域行事・祭り
- 放課後や土曜日の学習・体験
- サマースクール
- スポーツ少年団
- ボランティア活動
- 地域防災活動

地域学校協働活動(例)

- 授業ゲスト講師の紹介
- 活動場所のコーディネート
- ボランティアの紹介・調整
- ボランティア力向上勉強会

- 学校図書館運営
- 授業前の学習支援
- 部活動外部指導者紹介
- 登下校時の安全管理
- 校庭芝生・花壇整備
- 学習補充支援

- 家庭教育支援
- 放課後子供教室
- 学びによるまちづくり
- 地域社会における地域活動

*** 体力向上委員会**

ナワトビ GO!

フール授業お助け隊

夜の美加小お月見しましょう

*** 学力向上委員会**

本のリユース

ざぶとん図書室

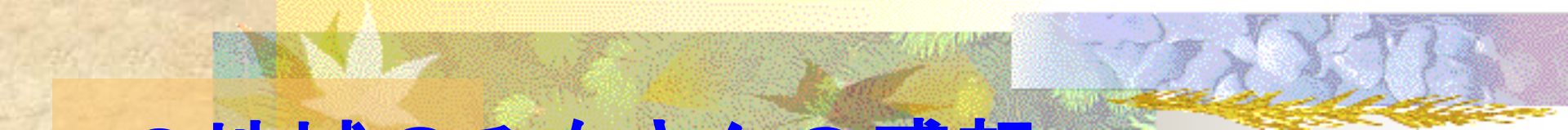
おじさん面接官

和タイム 他

富田林中学校では

- 制服検討委員会
- *社会探求学習 企業検討委員会





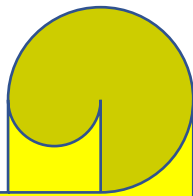
○地域のみなさんの感想

- ・自分のペースでボランティアをできるのがいい
- ・地域の人との新しい出会いがありネットワークが広がる
- ・子どもたちから笑顔や元気をもらえる
- ・大切な学びを経験できる機会である（大学生）
- ・楽しく参加でき、やりがいを感じる
- ・子どもたちのためにと始めたが、自分のためになっている事に気づいた
- ・学校が身近になり、大切にしたいと思う
- ・美加の台の子どもに対する関心が深まった
- ・次回の依頼が楽しみになる
- ・先生方の思いが感じ取れる
- ・元気にあいさつのできる子どもがとても増えてきた



○先生方の感想

- 教職員の気持ちをしっかり考慮していただき安心感が持てる
- 子どもたちにも地域の方の思いを説明し伝えていかなければならないと思う
- 『地域が子どもを育てる』それが特別なことでなく普通にできることが素敵だと思う
- 地域とつながるためには、まず教師の見方・考え方をかえる
- 規模の小さな学校にとって人的サポートはとてもありがたい
- 引率のサポートで子どもの危険な場面が減った
- ゆめ☆まなびネットの活動に大きな信頼感をもっています
- 学校の求める人材をタイムリーに提供いただき助かっている
- 学校をはじめ地域そのものが活性化し、『つながり』・『きずな』が生まれてきている
- 教育環境を整えるためにとても力になっていただけている
- 子どもたちと地域の方が知り合い出会うキッカケになっている
- コーディネーターとの信頼関係ができている



コミスク算

『+』 たすけあうと 大きな力に
『-』 ひきうけると 喜びが生まれる
『×』 声をかけると 一つになれる
『÷』 かかわると 笑顔が帰ってくる

